



学生証を受け取る受講者

## 学ぶ意欲いつまでも 長寿大学開講式

つがる市長寿大学開講式が5月29日、松の館で開催されました。開講式では、葛西学長（教育長）が各地区の代表者に学生証を手渡し「新たな友を作り、学生生活が有意義なものとなることを期待します」と式辞。181人の受講生を代表して小山内兼一運営委員長は「学ぶ意欲と仲間との交流を持つととする皆さんは、若々しく輝いて見えます。誇りを持って大学生活を楽しみましょう」とあいさつしました。

式終了後の第1回学習会では、ATV「わっち」などでおなじみのフリーアナウンサー・川口浩一さんが「いきいき健やかで健康長寿」と題して講演。受講者は、軽快なトークにうなずきながら熱心に耳を傾けていました。

## 地域住民の願い「虫送り」を継承

牛瀧町で5月28日、伝統行事「虫送り」が行われ、地域住民約150人が五穀豊穡や交通安全を祈願しました。この地域では、平成元年から旧牛瀧小のPTAと児童らが虫送りを継承してきましたが、この春同校が閉校。行事が途切れる雰囲気があった中、地区住民のふれあいの場として行事を守ろうと、牛瀧町内会（佐々木剛会長）が中心となって存続することになりました。

この日は、トラックに乗せた虫を先頭に、4歳から中学1年生までの48人と保護者らが太刀振りや荒馬踊りを披露。沿道に集まった住民からは盛んに声援が送られていました。初めて荒馬を担当した工藤凜菜さん（車力中1年）は「また参加できて楽しかった。来年は太刀振りもやりたい」と話していました。



観衆に太刀振りを披露する子どもたち



玄孫の櫻庭百合奈ちゃん（5歳）から花束贈呈

## 葛西ソワさん100歳おめでとう

葛西ソワさん（森田町）が6月1日、めでたく満100歳を迎えられました。大正6年生まれ葛西さんは、鯉ヶ沢町建石町出身。亡夫・柏松さんのもとへ嫁ぎ、農業を営みながら5人の子どもを育てました。孫12人、ひ孫23人、玄孫5人にも恵まれ、優しいおばあちゃんと親しまれています。

6月3日、入所先の明光園で「100歳を祝う会」が行われました。駆けつけた親族30人に施設利用者や職員なども合わせ約140人が大集合。市からの頭彰状伝達やみんなのお祝いの歌の後には、ひ孫の風夏さん（森田小5年）が所属する吹奏楽部に姉の夕夏さん（森田中1年）も加わって演奏会が行われ、盛大に百寿を祝いました。

## マシンを使ったトレーニングを体験

市民健康づくりセンターで6月6日、運動初心者の方にマシンを使ったトレーニングを体験してもらおうと、トレーニングルーム体験会が行われました。

体験会では、健康運動指導士の資格を持つ保健師の指導のもと、マシンを使った有酸素運動や筋力トレーニングを体験。参加者は、自分のペースを保ちながら心地よい汗を流していました。参加した小野君枝さんは「筋トレマシンを使ったのは初めて。難しいイメージでしたがうまく使えました。定期的に施設を利用できるようになればうれしい」と話していました。この体験会は、9月まで毎月2回開催。日程等は広報つがるでお知らせします。



いろいろな器具を体験する参加者

## 仲間とはつらつプレー グラウンド・ゴルフ大会

市グラウンド・ゴルフ協会（成田文尚会長）主催の「つがる市親善グラウンド・ゴルフ大会」が6月8日、つがる地球村で開催され、市内外から18団体281人の愛好者が集結しました。

市体育協会会長賞争奪で行われるこの大会は、今年で12回目。参加者は、お互いのプレーを褒め合いながら競技を楽しみ、親睦を深めていました。弘前市から参加した相馬弘美さん（64歳）は「このコースは芝を整えすぎず予測不可能なのが魅力。成績はまあまあでした」と振り返っていました。

【結果（敬称略、優勝者のみ）】総合：世永リキエ（鱒ヶ沢町）

赤組 男性：今健一（五所川原市）、女性：世永リキエ（鱒ヶ沢町）

緑組 男性：蒔田義弘（五所川原市）、女性：蒔田洋子（五所川原市）



競技を楽しむ参加者



手づくりの加工品などを買い求める客

## 毎年恒例「木造夕市」がスタート

6月1日、市商工会駐車場で今年最初の「木造夕市」が開催され、大勢の買い物客でにぎわいました。

これは、木造夕市の会（八木橋リウ子会長）の会員17人が、心を込めて育てた旬の野菜や手作りの加工品などを持ち寄って路上販売するもので、10月下旬まで毎週木曜日に開催しています。この日は、新鮮なホウレンソウやチンゲン菜のほか、手作りの豆腐や納豆、笹餅などを販売。オープンを待ち望んでいた市民らは、お薦めの調理方法や保存の仕方など、生産者と会話を交わしながら買い物を楽しんでいました。

初めて訪れた伊藤たえさんは「採れたての野菜が手ごろな値段で手に入る。また買いに来ます」と話していました。

## ありがとうの花束をプレゼント

木造保育所（千葉敦志所長）の園児が6月14日、いつもお世話になっている方々にお花を届けようと、市役所などを訪問しました。これは、6月の第2日曜日「花の日」にちなんで行っているもので、花束は園児らが家庭から持ち寄った花で作られています。この日、市役所を訪れた3歳児15人と4歳児14人は、讃美歌「この花のように」を合唱し「いつも私たちのために働いてくださってありがとうございます」と白戸福祉部長らに花束を手渡しました。福祉部長は「みんなから元気をもらいました。ありがとう」とお礼を述べていました。

木造保育所では、教育委員会、警察署、郵便局、消防署へも訪問し、感謝の気持ちを花にして贈りました。



白戸福祉部長らに花束を贈る園児



好評だった長芋すいとん鍋

## 朝の商店街に活気あふれる

6月18日、木造地区の千代町商店街で今年初の朝市が開かれ、多くの市民らが訪れました。

オープニングセレモニーでは、長谷川靖久実行委員長が「がんばろう!」と威勢のいい声を上げ、関係者一同の拍手で朝市がスタート。会場には新鮮な野菜や魚、花など旬の産品が並び、大勢の買い物客を楽しませました。また、しじみ貝のすくいどりや、無料で振る舞われた長芋すいとん鍋などが好評でした。

市内から訪れた女性は「朝の活気と新鮮な野菜が楽しみで毎年来ています。今日はいい新玉ねぎが買えました」と楽しそうに話していました。この朝市は、10月まで毎月第3日曜日の午前6時半から開催されます。